様式１（介護ロボット等モニター調査事業　資金交付申請書）

平成　26年　12月　1日

公益財団法人テクノエイド協会　殿

（申請者）

〒143-0016

住所　東京都大田区大森北3-43-7-1301

事業者名　株式会社ハッピーリス

担当者所属　代表取締役

担当者名　吉田　理恵

電話番号　03-5493-1487

電子メールアドレス　r-yoshida@happyris.com

介護ロボット等モニター調査事業　資金交付申請書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して申請します。

記

１．介護ロボット等モニター調査計画書（別紙）

２．会社概要（任意様式）

（本書類の取り扱い等について）

- ○ ご提出いただく「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングのために公開いたします。公開可能な範囲において、できる限り記載してください。
- ○ 「モニター調査計画書（別紙）」は、介護施設等とのマッチングに際して、インターネット等を通じて登録協力施設等へ情報提供します。
- ○ 依頼する案件について、モニター調査に協力いただける介護施設又は団体等が現れない場合には、実施できない場合もあることを予めご承知置きください。

（別紙）

平成　26年　12月　1日

介護ロボット等モニター調査計画書

１．申請者の概要

事業者名	株式会社ハッピーリス	
担当者名	代表取締役　吉田理恵	
担当者連絡先	住所	東京都大田区大森北3-43-7-1301
	電話	03-5493-1487
	電子メールアドレス	r-yoshida@happyris.com
主たる業務	測定検査用音響機器開発・製造	
主要な製品	異音検査集音器、聴診器音モバイル送信用集音器	
希望する施設等の種類・職種等	・老人ホーム・在宅介護・通所介護における食事介助者 ・病院入院中の嚥下障害者への食事介助者 ・リハビリテーション科での嚥下機能訓練をする言語聴覚士等専門家 ・嚥下機能検査をする訪問診療の医師・歯科医師	
希望するエリア	関東～関西	
その他		

２．申請機器の概要（可能な範囲でご記入ください。）

機器の名称（仮称）	ごっくんチェッカー
機器の概要 （写真添付）	１．主な対象者 嚥下機能障害患者、嚥下機能障害患者を食事介助する者 ２．目的 ・　食事介助をスムーズかつ安心して行えること→介護負担の軽減 ・　嚥下障害者の食事の練習にも利用できること ３．写真 ４．使用方法 頚部装具にマイクを装着し、頚部装具を写真のように首の後方から首にはめる。 マイクのプラグをスピーカー本体に接続し、本体電源スイッチを入れ、音量ツマミで適切な音量にする。 飲みこんだ音や呼吸音がスピーカーから聞こえる。 イヤホンジャックにイヤホンを接続するとイヤホンでも嚥下音が聞こえる。 イヤホンジャックから外部機器に接続すると録音できる。
現在の開発状況と課題	機器に関するリスクアセスメント（安全性の評価と確保対策） ・　防水仕様ではない為、過度な水濡れでは故障する→取扱説明書にて警告。さらにお茶などをこぼした程度では内部基板に水が届かない設計にした ・　施設ロビーで大勢での食事中、スピーカーから嚥下音が聞こえることに他の高齢者が過敏になる場合→イヤホンジャックをつけ、スピーカーから音が出ず介助者だけがイヤホンで嚥下音を聞くこともできるように改良した ・　PL保険加入 現在の開発に関する課題 頚部に装着するマイクの装具および装置本体の細部の使い勝手をモニターし改良。 その他、病院、施設での使用環境により発生する要望を考慮した改良を行う。

３．モニター調査の内容（お願いしたい内容をできるだけ具体的に記載してください。）

＜対象者＞

①嚥下機能障害者
②嚥下機能障害者で認知症高齢者
③スピーチバルブ、コルセットなどを装着している高齢者

＜方法＞

観察法（動画撮影・録音有）、インタビュー

＜調査・比較＞

①食事の際の姿勢の違いによる比較

②スピーカー使用とイヤホン使用の、利用環境・利用目的による比較

③食事介助者が飲みこみの音を確認しながら食事介助しやすくなるか（時間負担または安心感など）

④使い勝手に関すること

・　マイク装着などを簡単に行えるかなど作業効率に関するご意見

・　どの部位、またはどのように装着すると最も有用か、どのように装着すると専門知識が少ない者も嚥下を確認しやすいかのご意見

その他、上記に関わらす、使い方、使い勝手に関するご意見

（注）必要に応じて記載欄を増やして記入してください。

会 社 概 要

株式会社ハッピーリス

代表取締役社長	吉田　理恵
設立	2006年12月4日
資本金	1100万円
本店・スタジオ	東京都大田区大森北3−43−7 TEL　03-5493-1487　　FAX　03-5493-1444
事務所・工場	東京都大田区本羽田2-12-1　テクノWING403 TEL　03-5879-4260　　FAX　03-5879-4261
webサイト	http://www.happyris.com　　http://carereco.com
E−mail	r−yoshida@happyris.com（吉田）
従業員	４名
業務内容	音響製品開発製造販売、音楽制作、音楽教育
取引銀行	みずほ銀行　 さわやか信用金庫　 川崎信用金庫

＜沿革＞

（代表取締役吉田経歴）

1987～1990年	株式会社日本実業出版社勤務
1991年～	大事MANブラザーズバンドとしてデビュー、シングルCD「それが大事」が200万枚セールスを記録、日本ゴールド大賞、日本有線大賞新人賞受賞。キーボード、ボーカル、作詞・作曲・編曲、タレント等として活動
1995年～	音楽制作業務開始。メジャーアーティストに楽曲提供の他、フジテレビ、TBS、スカイパーフェクTV、DHC、ヤマダベネッセコーポレーション、他多数音楽作曲
2003～2006年	産婦人科医共同開発で胎児心音を使った乳児安眠用CD開発

（株式会社ハッピーリス社歴）

2006年12月	株式会社ハッピーリス設立、代表取締役吉田理恵 音楽制作、教育事業、音響開発を主業務とする
2007年3月	大田区創業支援施設BICあさひに入居
2007年5月	胎児心音オリジナル音楽CD販売開始、住友生命にて取扱
2008年4月	大田区新製品新技術支援助成に合格し、聴診器の音を携帯電話に録音する音響製品「ケアレコ」を開発
2008年10月	胎児心音関連商品をミキハウスマタニティショップベイビーハウスが販売開始
2009年3月	「聴診器音声モバイル録音・送信システム」で総務省・経済産業省後援「MCPCアワード2009」奨励賞受賞
2009年8月	ケアレコ直販開始、「ケアレコ」を応用したビジネスモデルが川崎市ビジネスアイデアシーズでトリプル受賞 音響製品製造として製造業が登記追加、既存の音楽制作、音響開発、教育事業に加え、メーカーとなる ケアレコがNHK、新聞、雑誌で多数取材される
2009年10月	大田区新製品新技術コンクールでケアレコが奨励賞受賞
2009年11月	大田区立テクノWINGに事務所・工場を移転
2010年2月	第一回大田区ビジネスプランコンテストでペットビジネスモデルが入賞
2010年3月	「MCPCアワード2010」で動物体調管理モデルが奨励賞受賞（同アワード初の2年連続授賞）
2010年4月	ケアレコが東京都の支援採択製品に認定、東京都中小企業振興公社がケアレコ関連の営業開始
2010年7月	国際モダンホスピタルショウ出展、医大、医療従事者からの要望で、医療応用分野への音響開発開始
～2012年	ケアレコをモーター音等異音検査機器としてカスタム製作開始。配管検査用集音器具開発受注開始。
2012年12月	京都リサーチパーク主催経産省後援「京都テクノロジー＆ビジネスプランコンテスト」受賞
2013年	フジテコム社と漏水検査器具を共同開発。異音検査機器の大手生産工場向け製品受注増。 東京医科歯科大学協力で嚥下音確認装置を開発。
2014年3月	第88回かわさき起業家オーディションで嚥下音確認装置がトリプル受賞
6月	日本政策投資銀行主催内閣府経産省後援「第3回女性新ビジネスコンペティション受賞